

かきつばた

2016年11月

第48号

あいち診療所野並
名古屋市天白区福池
2-330-2
TEL052-895-6637
平成28年11月1日発行

在宅ケアの実践者達 鹿児島に集う

去る9月18日、19日の二日間にかつて『在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク』第22回全国の集いin鹿児島2016』が開催されました。

『在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク』は1993年に当院の在宅医療を紹介したNHKの番組をきっかけに作られたもので、日本の在宅医療の進歩に多くの役割を果たしてきた団体です。あいち診療所理事長の畑が事務局長を、理事の藤村が副会長を務めており、毎年開催される「全国の集い」には様々な職種の方々が集まり意見を交わし合います。

今年は大台風の大陸の影響を受けながらも、多くの参加者を得て無事に終了しました。当法人からは14名が参



加し、実践交流会では7名が現在取り組んでいることや皆様とのかかわりの中で学んだことを発表しました。発表者と発表内容は以下の通りです。

・大竹功剛 訪問リハビリ「多職種連携による摂食嚥下アプローチの一例」(優秀賞)

・呉屋政佳 通所リハビリ『同じ在宅？訪問と通所！』『通所リハ』『自宅での生

活とのつながりについて』

・水野敏江 訪問看護「在宅を支える在宅栄養管理の実践に向けて」

・石原弘子 憩いの庄「看護小規模多機能型居宅介護事業所の一つの役割」

・野村秀樹 あいち診療所野並「在宅患者に対するQOL評価の試み」(継続発表推薦)

・中堀千賀子 生活習慣病自己管理センター「企業健診後のフォローアップへの取り組み―法人内の健診後の職員への看護介入からみえたこと―」

・近藤眞理子 憩いの学校(重心児者日中預かり事業)「入浴に相応の評価を」

またランチョンセミナーでは、あいち診療所として職種別交流会を企画しました。多くの方々にご参加いただき、様々な地域の皆さんと情報交換や意見交換をおこなうことができました。

大会2日目午後には当法人の藤村理事が担当する「アジア介護実践交流会」が開催され、日本の介護現場で働く台湾人、フィリピン人の報告を交えた交流会をおこないまし



た。来日した外国人が文化の違う日本で様々な困難を乗り越えて頑張っている様子が報告されました。残念ながら台風の影響で十分な討論に入る前に繰り上げて打ち切りになってしまいました。働く仲間として絶えず相手の立場に立つことの大切さを感じさせられる発表でした。

今回の経験もふまえ、今後も皆様の心に寄り添うケアができるよう、知識と実践を積み重ねてまいります。



シリーズ

プロが教える

おうちで健康

キーワードは『参加』

ケアマネジャー 吉川志津香

今のおうちから介護予防をしましょう

年齢とともに『からだどこころの機能』が低下することは、誰にでも起こりえることです。しかし、「もう年だから」「おっくうだから」と言ってしまうと、更に機能が低下し、日常生活を送る上でさまざまな支障がでてくる可能性があります。名古屋市では、以前から保健所やコミセンでさまざまなクラブや教室がありました。今はいきいき支援センターが主催の『いきいき介護予防事業』というものもたくさんあって、運動で体を動かすこと、生活に活かすことができる食生活やお口の健康についての学習、生きがいづくりなど、心身の状況に応じて参加・利用ができます。

地域助け合いの力が

必要な時代になってきました

今後、介護の必要な方が増えていく中で、介護保険サービスだけでは量的にも、考え方の幅も全く足りず、生活の視点からの「新しい公的サービス」や「地域の助け合い」など新たなさまざまな仕組みを作らなければいけないという考え方がすすめられています。時間や体力に余力のある方、ぜひ「地域の助け合い」にご参加ください。何か一つでも人や地域のために手伝えることは、実際の行動として「体を動かす」、「人と話をする」、「気を使い」、「頭を使う」ことのどれか一つを使っている人の役に立つことなので、自分の心と体が活発になり、「健康で元気に過ごす」事につながります。



支える側の活動をして

自分の元気を維持しよう

キーワードは「参加」です。地域の活動に参加する、ちょっとサロンをのぞいておしゃべりしてくる、そんな第一歩を踏み出すことで、自分が負担なく出来ることが見つかるかもしれません。この前、私が遭遇した「助け合い」は老夫婦の家に隣の方が、「明日新聞を出す日だから取りに来たよ」と来てくれました。ご本人たちにとっては自然なことだったかもしれませんが、まずは隣の人にあいさつする。お互いがんばっていますねと声を掛け合う。こういうことなだと思いました。

「サロン」がstronglyおすすめです

高齢者の方が、身近な場所で気軽に集まり、楽しく交流することが出来る場を「高齢者サロン」と呼びます。いわゆる「お茶の間」「たまり場」です。活動内容は場所により全く違い、お茶、おしゃべりのところもあれば、スポーツやマージヤ

ン、卓球などのゲームが出来るところもあります。天白には30箇所、緑区は77箇所もあって、のぞいてみると知った人ばかりということも思いいます。他にも地域の方が交流する場として「認知症カフェ」・「コミセンや福祉センターの講座」そして野並の「健康カフェ」「介護カフェ」などの名称で行われています。元気のヒントがあると思いますので、ぜひひお近くのサロンのぞいてみてください。場所は各区の社会福祉協議会に聞いたら教えてくれますし、野並の健康カフェや介護カフェはいち診療所でもご説明できますよ。



笹原健康祭り 大盛況

10月16日 第3回笹原健康祭りが開催されました。
イベントいっぱい・出店いっぱいで大盛り上がりの様子
をお届けいたします。



おいしい焼きそば



アフリカの楽器「ンビラ」の音色にうっとり



勇壮な太鼓に心も震えます



みんな一緒に踊って盛り上がりました



ボランティアによる
出し物披露



沢山の人が参加してくれました

笹原健康祭りの実行委員には、東西の笹原町内会や学童、あいち診療会の患者さんなど、地域にお住まいの様々な方が企画段階から参加してくれました。今後も多くの方に関わっていただき、地域の交流の場と成ればと願っています。

笹原健康祭り実行委員長のコメント



笹原健康祭りを終えて

実行委員長 渡邊隆彦

さわやかに晴れ渡った空の下、多くの人々が携わった『笹原健康祭り』を終えることができました。誠にありがとうございました。

祭りのテーマである「地域の絆を深める」ことができたことと思います。地域の人々の絆の深さ、その一人一人が持つ力をいかに発揮して祭りは大きな成果をもたらしました。

今後もさらに友好を深め、野並の地に生きる我々の絆を深めていきましょう。

ノロウイルス



11月～3月の冬期にかけて多く発生し、激しい下痢と嘔吐におそわれます。牡蠣などの二枚貝の生食や、感染者からの二次感染に注意が必要です。ウイルスは、物に付着している・空気中等どこにいるか分かりません。不特定多数の人が出入りする場所へ行く際は、マスクをしたり、手洗いうがいをこまめに行い、感染経路をシャットアウトしましょう。そして基本となる、適度な栄養・睡眠・運動で抵抗力を高めておく事もお忘れなく。

あいち診療所野並

	月	火	水	木	金	土
午前	畑	野村/ 畑	野村/ 岡崎	野村 (もの忘れ)/ 畑	野村	岡崎
午後	野村/ 畑(第1週)	野村	畑	畑 <small>夜9時まで</small>	野村	

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 4:00～7:00 木曜日は夜9時まで

あいち診療所滝の水

	月	火	水	木	金	土
午前	岡崎	岡崎	畑	岡崎	岡崎	

診療時間 月水木 午前 9:00～12:00
火金 午前 9:00～10:30

予約制 もの忘れ相談外来
毎週木曜日 午前9時～12時

医療法人 あいち診療会

あいち診療所 野並
052-895-6637

あいち診療所 滝の水
052-878-1212

のなみ居宅介護支援事業所
0120-890-709

のなみ訪問看護ステーション
052-895-5806

滝の水 憩いの庄
052-878-1751

滝の水 憩いの学校
052-838-8878

おさらい (前号までに掲載した大事なお知らせ)

時間外診療

電話での相談に24時間対応します。通院中の方(処方日数内)で、体調に変化があり相談したい場合 **895-6637**までお電話下さい。

発熱・下痢の時は。。

来院前にお電話下さい。待ち時間が少なく診察できるように致します。
895-6637

連絡が無い場合、待合室を利用いただけ
ない場合がございます。

わいわい倶楽部

月会費500円で送迎致します。利用の無い月はお金は頂きません。(一人で車の乗り降り可能な方に限ります)



予防接種

予約制で短い待ち時間で行います。(相談が無い方に限ります) 予約した時刻前までにご準備下さい。前の方の診察が終わり次第、診察致します。

【お問い合わせ先】

〒468-0049 医療法人 あいち診療会
(052) 895-6637
愛知県名古屋市中区福池二丁目三〇一
担当 荒木



「うちの敷地じゃないうちの木でもないのに…」街路樹問題には、公共の空間をどう捉えるかが関わってきます。身のまわりの環境を「自分とは関係ない行政がなんとかするもの」ではなく、「自分も関わる皆のもの」と考えられると、もっと住みよくなると思うのですが(とはいえずっぱり面倒ですね)。

ガサガサかかかパキッ。いつもは無機質なアスファルト路が、落ち葉や木の実に彩られる季節になりました。名古屋は地域の18%を道路が占めていて、単位面積あたりの街路樹の本数は政令指定都市で一位だそうです。色とりどりの花、爽やかな新緑、実を啄ばむ鳥…、四季折々の表情で楽しませてくれる一方、落ち葉や枝の剪定などは近隣住民の悩みの種になっています。

赤黄茶色の絨毯

荒木大輔